

## 平成30年度第4回市政モニター会議会議録

日時 平成31年2月7日(木)  
午前10時30分～正午  
場所 市役所7階会議室7

### 1. 平成29～30年度の行政施策について（説明者 副市長）

別添資料に沿って説明。

### 2. 懇談（要旨）

#### ■倉知モニター

（市役所の業務の縦割りについて）

・市役所の業務が縦割りである。ワンストップで問題解決できないか。例えば、都市公園と児童遊園で管轄分けがされているが、遊ぶ子どもにとっては同じ公園なのに、予算の違いなどで整備に差がでるのはどうなのか。他にも、災害時の要支援者名簿について危機管理課に問い合わせたとき、名簿については福祉課が担当だと言われた。

（無駄な業務や経費について）

・縦割りによって無駄な施策に気が付かないのではないかと。観光情報ステーションの業務は必要なのか。区でも、農業倉庫のため、毎月199円振り込みがあるが、使っていないので定額支払われるので、無駄が生じていた。無駄な施策を見極めて経費削減をするためにも、組織の見直しはできないか。

【答】・窓口サービスなど、ある程度のワンストップは進んでいるので、日常生活を送るうえでの不便さはあまりないと考えている。何か市民活動をしようとするときの不便さはあると思うが、各業務には専門性が求められるので、組織の垣根をなくすのには限界がある。

・施策については、市役所は1度始めたことはやめないとの批判もあるが、そのサービスを利用している市民にしわ寄せがってしまうので、やめるのは難しい。事業の存続を含め、本来はもっと市民と職員の対話が必要だが、全体の業務量が格段に増え、市職員が市民と対話する時間がとれない環境になっているので、今後の課題としたい。

・観光情報ステーションについては、商工農政課だけでは取り組めない観光事業について、NPOに委託しているもの。

・組織については、各課がうまく機能するように来年度少し改変予定がある。

#### ■井上モニター

(契約解除漏れについて)

仙台市では、街灯 72,000 機のうち、1,800 が不要になったとのことで撤去したが、契約解除を忘れ、8年間1億5千万もの電気料金を払い続けていたという事例がある。岩倉市においても、調べたほうがよいのでは。

【答】大規模な契約解除忘れはないかと思うが、児童遊園の街路灯など小さなところにも  
れがあるといけないので、調べるようにしたい。

(川井野寄地区への企業誘致について)

・市の負担は。また、もし遺跡発掘調査において重要な文化財が発掘された場合、調査は2年では済まなくなってしまうたり、計画が中止になったりするのでは。

【答】市が負担するのは文化財の発掘調査部分。うち半額は、愛知県企業庁が負担。仮に重要な文化財が発掘された場合は、その部分については民間には売却せず、市で買い取って保存する必要がある。従ってその部分については、造成費はかからないことになる。ただ、今回調査する区域はかつては沼地であり、重要な文化財が発掘される可能性は低いと考えている。

#### ■馬場モニター

(市の業務改善活動発表について)

市の業務と民間ではスピード感が違う。外部の講師を招いて業務改善について考える機会があるのはいいことだと思うので、ぜひ復活させてほしい。

【答】全庁をあげての取組であったため、これを行うために通常の業務以外に業務が発生してしまっていたことにより、思い切ってやめた経緯がある。

### 3. その他

任期は3月31日まで。また何かお気づきの点があれば、ご報告をお願いしたい。